



空中より見たる満鐵ビル

赤坂の葵町に昭和九年以來工事中であつた満鐵の東京支社が此程竣工した。場所は虎ノ門公園の隣、建坪 500 餘坪で工費 160 萬圓を要した。寫眞は新裝の同ビル左上端は文部省、その下増築中の霞山會館、左端に僅か現れてゐるのが特許局である。

満鐵ビルディング新築工事

設計 安井武雄建築事務所

施工 大倉土木株式會社

位 置 東京市赤坂區葵町二番地
敷地面積 4,248.85平方米
建築面積 1,650.43平方米
総延面積 11,580.71平方米
構 造 總體鐵骨鐵筋コンクリート造
樣 式 使用目的及構造に基づく自由様式
外 装 正面及他三面腰の大部分は折壁石
及稻田石張り上部は「タイル」張とし
陸屋根「クリンカータイル」敷
軒 高 地盤よりの高さ
正 面(北西) 29.426米 七階
背 面(東南) 21.746米 五階
屋上突出部 33.626米
各室配置 地 階 宿直室、建物係室、物置、
機械室
一 階 陳列室、支社經理課株式
係、會計係、用度係各室、
三菱銀行支店
二 階 支社事務室
三 階 重役室、會議室
四五階 貸室
六 階 食堂
七 階 機械室
塔 屋 昇降機械室

附帶工事 暖房設備

眞空式低壓蒸汽暖房

溫濕度調整裝置

屋上より空氣を取入れ濾過器を経て「キ
ャリア」溫濕度調整裝置に導き各室の噴
出口に連絡す何れも溫濕度を自動的に調

整したる空氣を送風器によりて送風す

給水設備

洗滌水及撒水は鑿井水を使用し其他は市
水道水を使用す

消火設備

屋内各所に消火栓を設置し屋外には「ウ
オールハイドラント」及「サイアミースコ
ンネクション」を設置す

塵芥焼却爐

各階に投入口を設け「ダストシュート」に
より地階焼却爐に導き焼却す

昇降機

客 用 三臺 速度毎分 350 呎

荷物用 一臺 速度毎分 200 呎

電氣設備

強 電

地中電纜により地階變電室に引込み電
燈用變壓器 75K・V・A 三臺動力用變壓
器 150K・V・A 三臺により低壓に遞降し
配電す

電 燈 數 約 1260 個

コンセント數 約 540 個

弱 電

私設電話 五階に自動式私設交換臺を
設備し「アンダフロアダクト」

により各室電話機に接続す

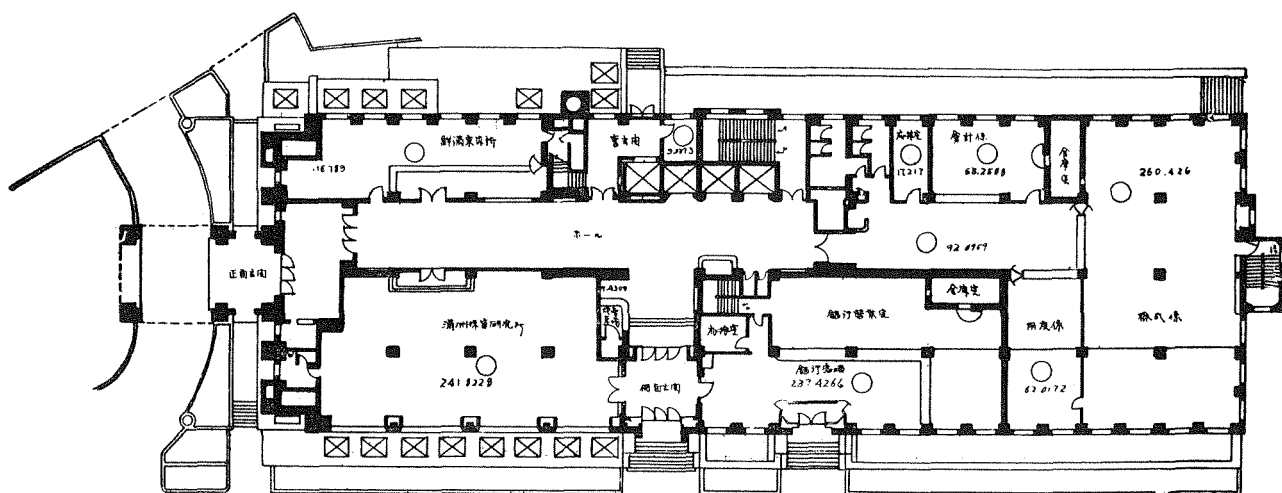
電氣時計、火災報知器、各種信號を設
備す

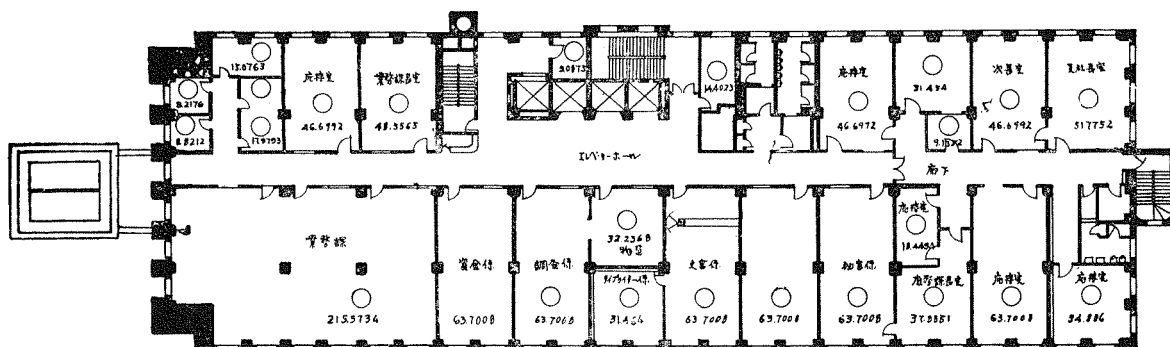
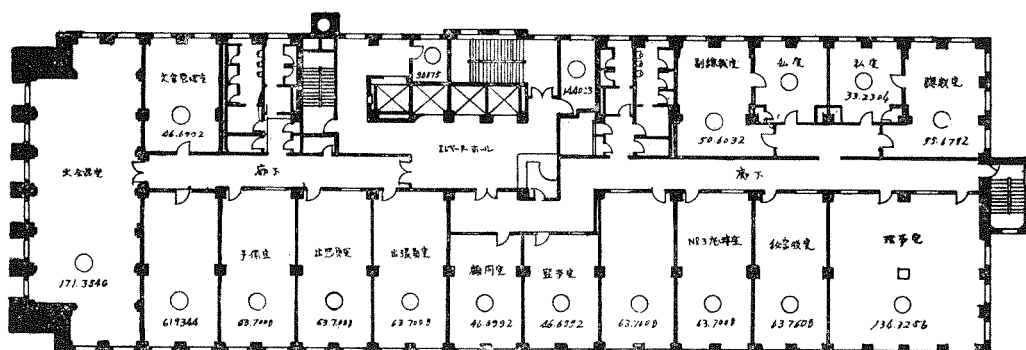
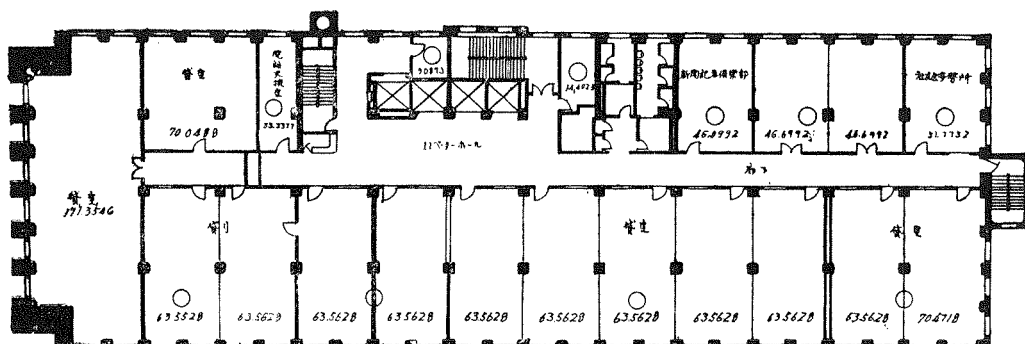
工事着手 昭和九年九月三日

工事竣工 昭和十一年四月三十日

(2) 満鉄ビル
正面全景。

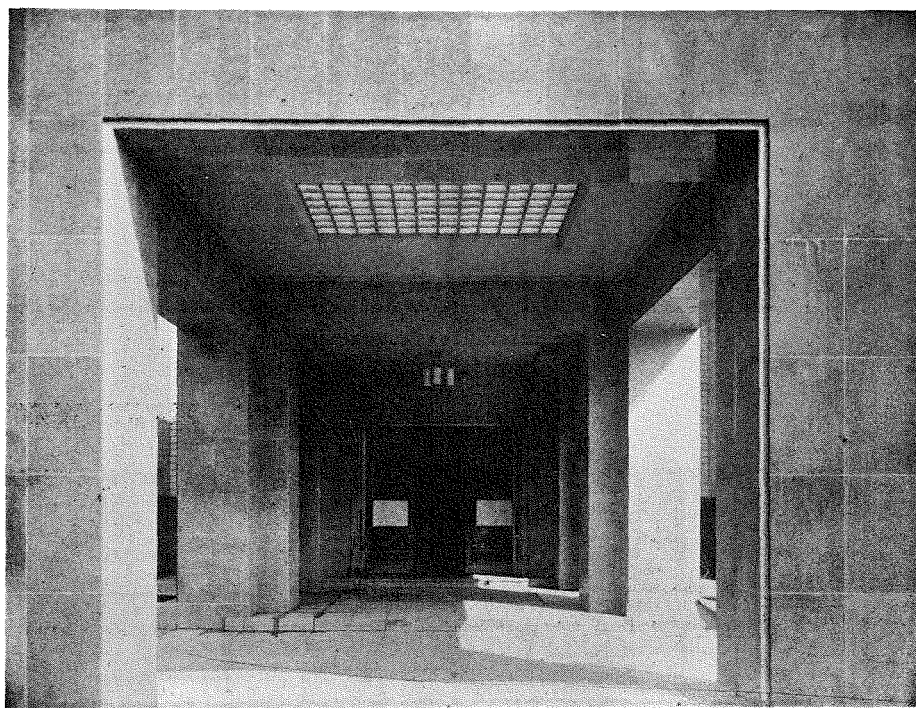
(3) 満鉄ビル
平面図1階





滿 鐵 ビ ル デ イ ン グ 平 面

(7) 正面玄関。



(8) 1 階ホール。





(9)
南
側
玄
關。

(10) 背 面 全 景。

